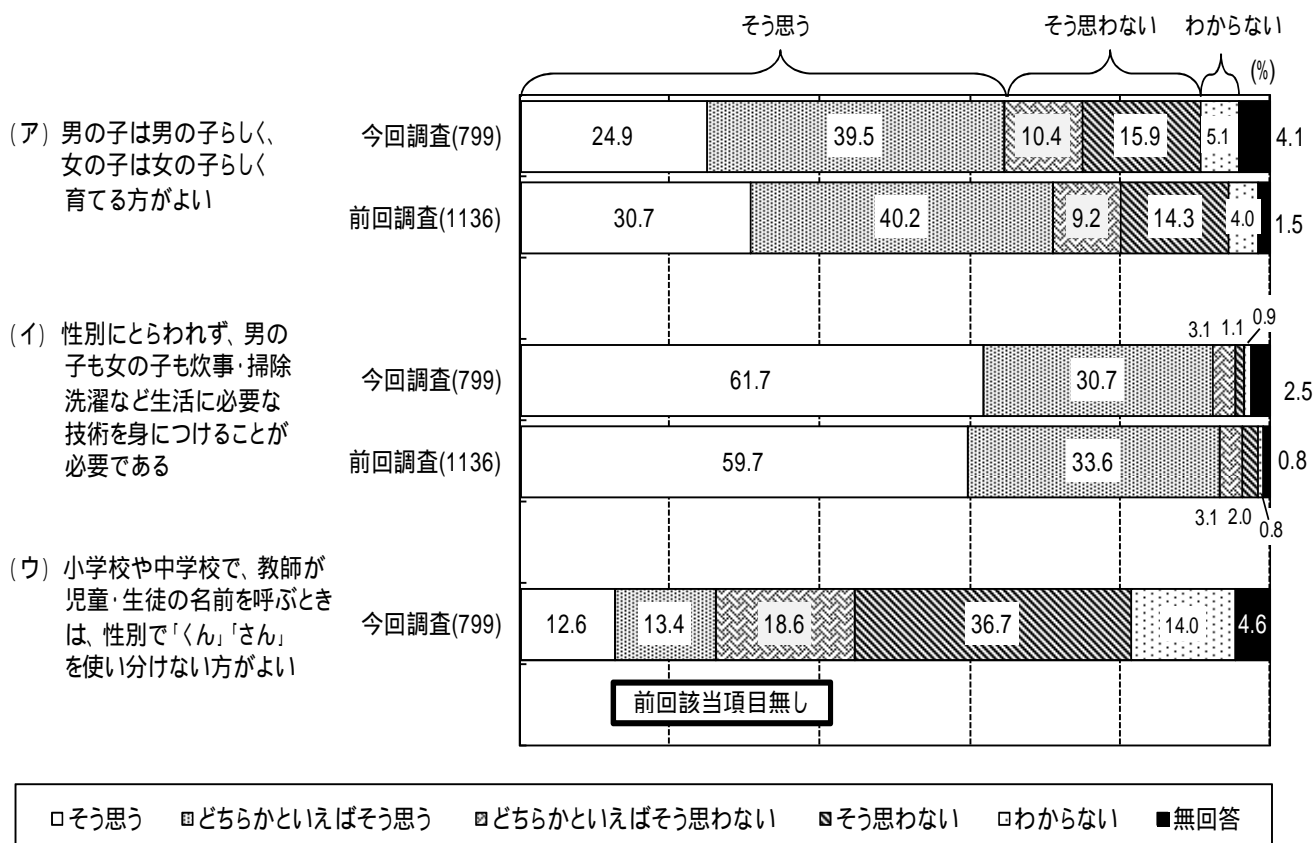


# 教育

## 4. 教育

### 子どもの教育における男女平等の意識

問6. あなたは、子どもの教育における男女平等の意識についてどう思いますか。(ア)～(ウ)それぞれについて一番近い考え方の番号ひとつに をつけてください。



子どもの教育における男女平等意識について聞いたところ、『そう思う』と回答した割合が最も高いのは、「性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要」であり、92.4%が『そう思う』と回答している。

また、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい」では、『そう思う』は64.4%で、『そう思わない』は26.3%と、『そう思う』と回答した割合が高くなっている。

「教師が児童・生徒の名前を呼ぶときは、性別で「くん」「さん」を使い分けられない方がよい」は、『そう思う』は26.0%、『そう思わない』が55.3%で『そう思わない』と回答した割合が高い。

#### 【前回調査(平成21年)との比較】

平成21年に実施した調査と比較すると、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい」は、『そう思う』と回答した割合が前回より6.5ポイント低くなり、『そう思わない』が2.8ポイント増えている。

# 教育

(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい

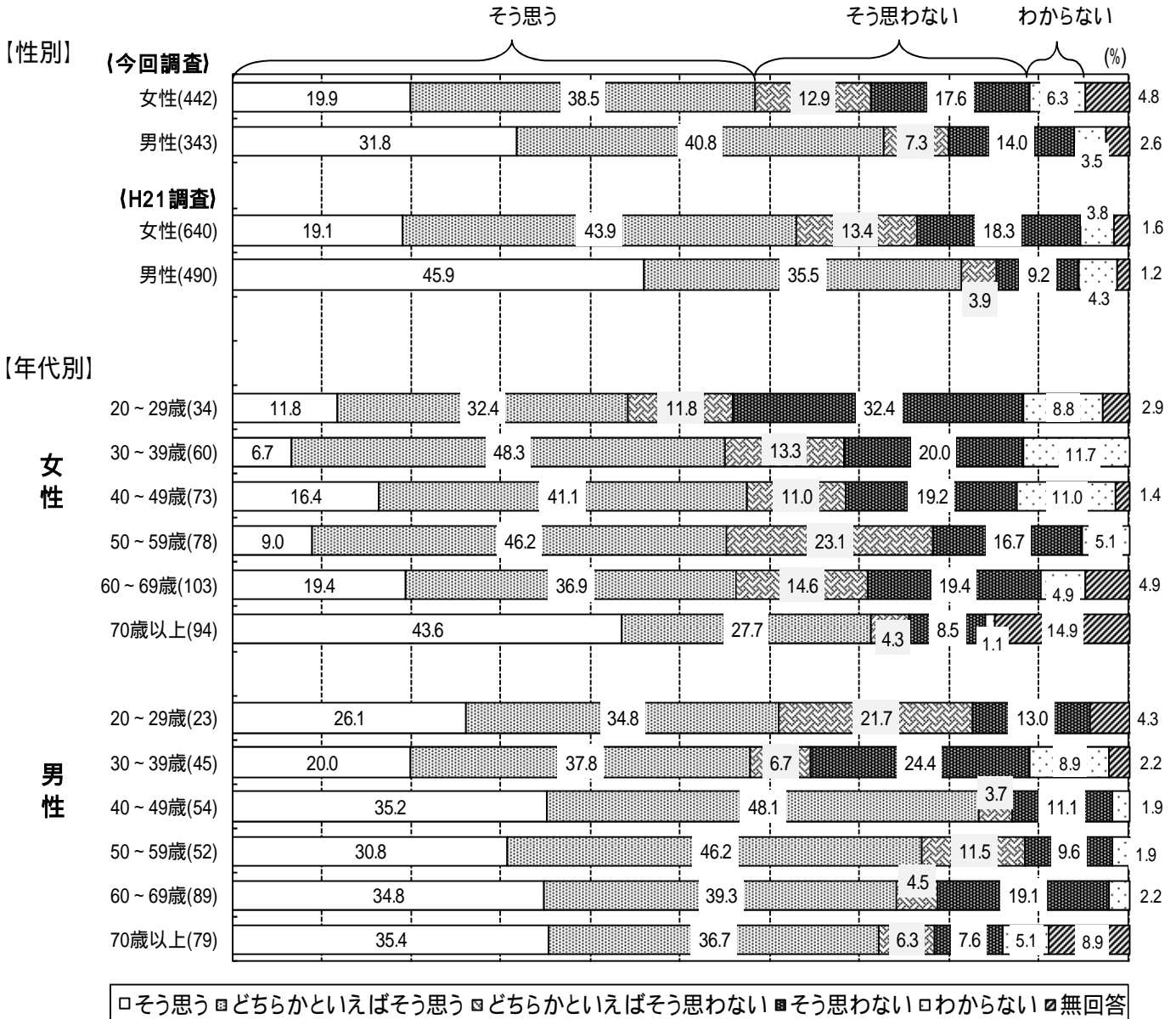
『そう思う』と回答している割合は女性 58.4%、男性 72.6%で、男性のほうが 14.2 ポイント高くなっている。

平成 21 年度の調査と比べると、『そう思う』と回答した割合は男女とも低くなっており、特に男性では 8.8 ポイント減少している。

【年代別】

ほとんどの年代で『そう思う』という回答の割合が高いが、20 代女性では、『そう思う』と『そう思わない』の回答の割合がともに 44.2%で拮抗している。

『そう思う』と回答している割合は、全年代において男性の方が高い。



# 教育

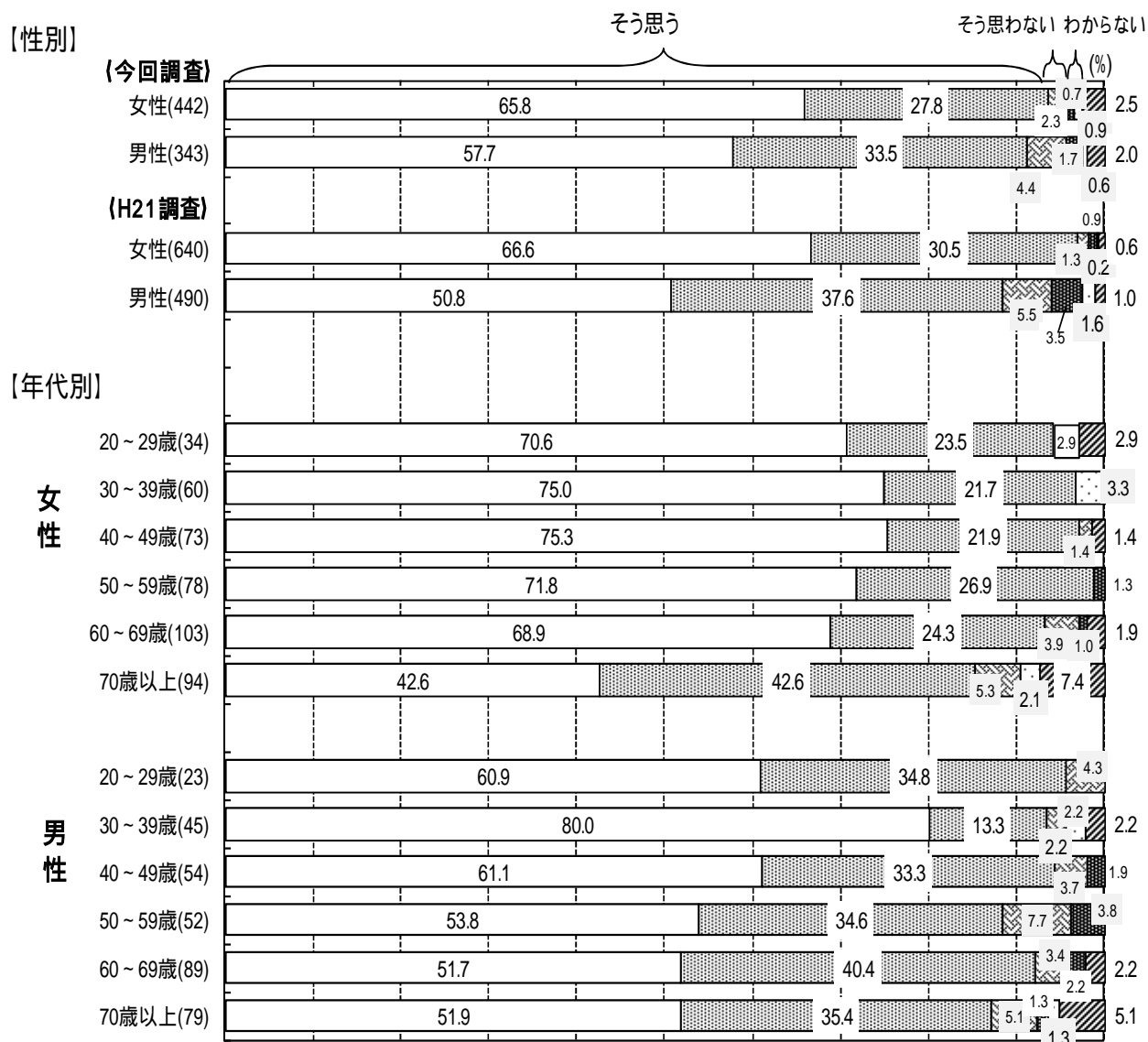
(イ) 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要である

女性の93.6%、男性の91.2%と全体の9割以上が『そう思う』と回答しており、男女とも非常に高い割合となっている。

平成21年調査と比べると、『そう思う』と回答した割合は、男性は増加しているが、女性は減少している。

【年代別】

男女ともいずれの年代でも『そう思う』と回答した割合が圧倒的に高い。特に女性の50代が最も高く、98.7%に達している。



□そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □わからない □無回答

# 教育

(ウ) 小学校や中学校で、教師が児童・生徒の名前を呼ぶときは、性別で「くん」「さん」を使い分けない方がよい

『そう思わない』と回答している割合は、女性54.8%、男性56.6%と5割を超え最も多くなっている。女性で『そう思う』と回答した割合は、23.5%と男性の29.7%より6.2ポイント低く、『わからない』という回答が多くなっている。

【年代別】

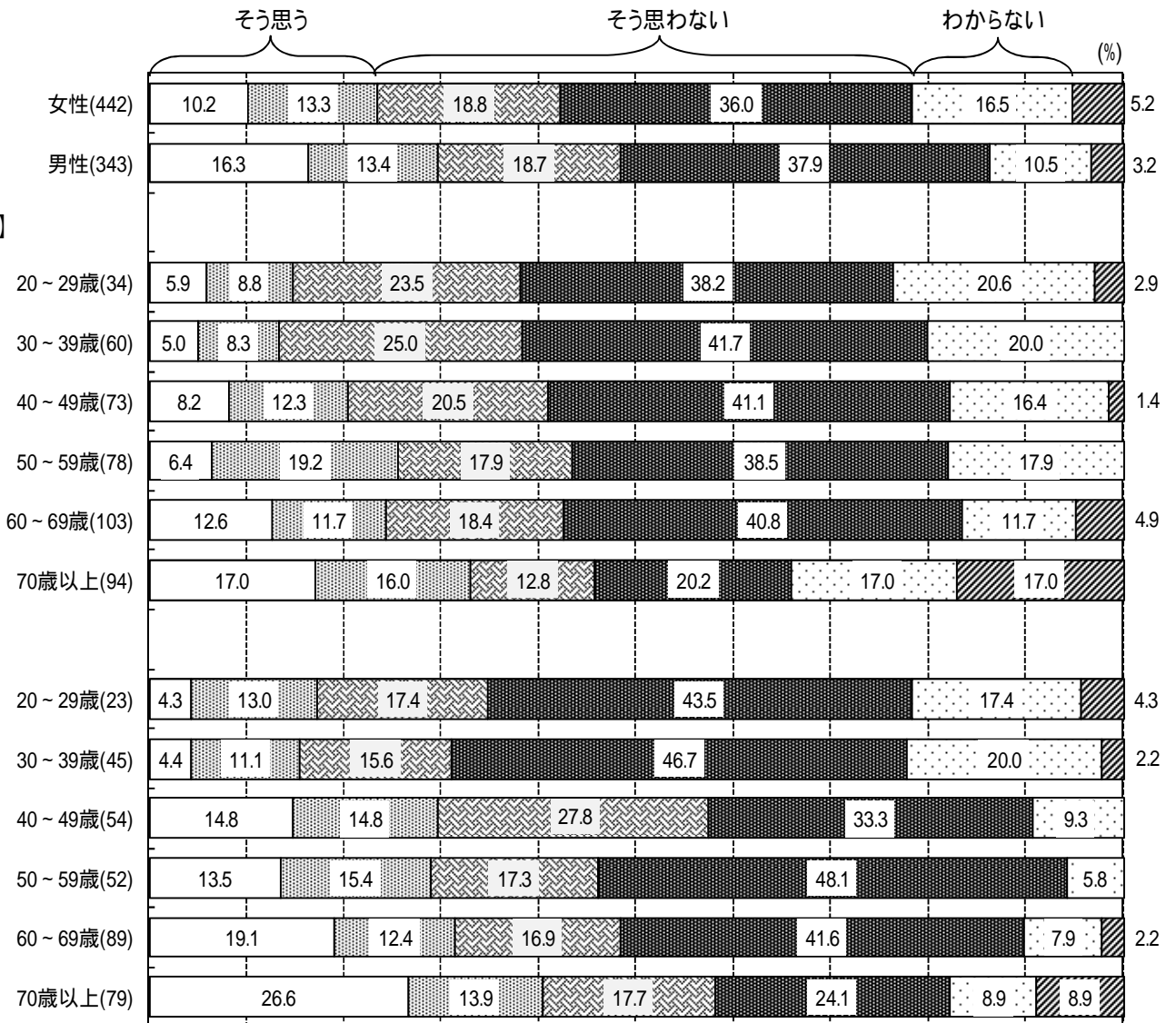
70歳以上を除いて『そう思わない』と回答した割合が5割以上と多くなっている。70歳以上の女性については、『そう思う』と『そう思わない』が、それぞれ33.0%で拮抗している。

【性別】

【年代別】

女性

男性



□そう思う ■どちらかといえばそう思う ▨どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □わからない ▨無回答